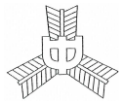


令和5年度 八代市立第八中学校 グランドデザイン

<熊本県教育大綱>

子供たちの
「夢」を育む
(熊本の人づくり)

「夢」を支える
教育環境整備



八中三道 (校訓)
優しく 強く 正しく



八代市教育委員会
学校教育推進の
基本方向性

<理念>
やつしろの
絆でつむぐ
心豊かな人づくり

<学校教育目標>

生徒の夢を育み 生徒と地域の未来を創造する教育
～成長を実感できる学校(生徒も、職員も、保護者・地域も)～

みとおす力(学びを・未来を)「展望」

みつめる力(自分を・現状を)「省察」

身に付けさせたい資質・能力

つなげる力(自他を・知識を)「連携」

めざす学校像(こんな学校に)
「通いたい学校」...生徒にとって
「働きたい学校」...職員にとって
「魅力ある学校」...保護者・地域にとって

めざす生徒像(こんな生徒に)
「お互いを尊重する生徒」
「郷土宮地を愛する生徒」
「夢実現に取り組む生徒」

めざす職員像(こんな職員に)
「生徒の夢実現を応援する職員」
「保護者・地域と協力する職員」
「学校教育目標を実現する職員」

生徒が自分の成長を実感できる学校

- 夢を育む授業・教育活動の充実
- 生徒の出番、活躍の場の設定
- 積極的な評価、「振り返り」の継続

職員が生徒の成長を実感できる学校

- 「身に付けさせたい資質・能力」の共有
- 定期的な評価、成果・課題分析
- PDCAサイクルの継続、新たな目標設定

保護者・地域と一緒に生徒の成長を実感できる学校

- 学校・生徒の課題、保護者・地域の願いを共有
- 課題解決に向けた様々な教育活動の協働
- ※「社会に開かれた教育課程」の実現
- 積極的な情報発信
- 生徒の成長を分かち合う場づくり(CSの充実)
- ※「地域とともにある学校づくり」の具現化

互いに認め合い、励まし合い、高め合っていく生徒

- 人権教育の充実
- 道徳教育の充実
- 学級経営の充実

郷土宮地を知り、大切にし、未来を考えていく生徒

- 総合的な学習の時間、「みやじ学」の充実
- 郷土宮地を意識した各教科等の授業の充実
- 郷土宮地のよさを学ぶと同時に課題解決への取組

夢や目標を持って、粘り強く取り組んでいく生徒

- キャリア教育の充実
(各教科等、キャリア・パスポートの活用等)
- 様々な人との「出会い」の機会を増やす
※地域学校協働活動の積極的な実施
- 進路指導の充実
(教育相談、進路相談等)

生徒に愛情を持ち、校務に真摯に取り組む職員

- 分かる授業の実践、分かるまでの学習指導
- 「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組
- 「よりよい愛言葉 やつしろ」の実践

信頼関係を築き、願いと期待に応じていく職員

- 不祥事の根絶及び危機管理体制の確立
- 一人一人の課題・ニーズに応じた指導・支援
- 保護者・地域との情報共有、連携強化

個々のよさを生かし、連携・協働していく職員

- 専門性に基づくチーム体制の構築
※課題解決に向けた各種校内委員会の取組
- 組織的な校内研修の推進及び校内研究の充実
- ※学校教育目標、校内研究テーマの意識化
- 教育効果を高めるカリキュラム・マネジメント
※教科横断的な視点に基づく教育課程の改善

<R5校内研究テーマ> **能動的に学び続ける生徒の育成** ～生徒が「わかった!」「できた!」と感じる授業をとおして～

目標値(R4年度→R5年度12月)※熊本県学力・学習状況調査「i-check」、2学期生徒アンケート

<省察>

- 自分には、いいところがある (3年:63, 3→70 2年:55, 6→70 1年:70)
- 自分は人間として成長したなと感じることがある (3年:56, 7→70 2年:66, 7→75 1年:70)

<連携>

- 話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言する (3年:56, 7→70 2年:77, 8→85 1年:70)
- 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている (3年:59, 7→70 2年:72, 2→80 1年:70)

<展望>

- 将来の夢や目標がある (3年:66, 6→80 2年:60, 0→70 1年:70)
- 計画的に家庭学習をしている (3年:43, 3→60 2年:56, 6→70 1年:70)



小中一貫・連携教育

六校園合同研修会

六校園子ども育成会

P T A

宮地校区コミュニティ・スクール運営協議会 ～「社会に開かれた教育課程」を通した「地域とともにある学校づくり」の具現化～

やつしろスピリッツ 「あいさつ・ききかた・そろえかた」

<人権同和教育の推進・啓発>

- ◎学校総体としての人権同和教育の推進(人権同和教育の日常化)
- ◎教職員の人権意識の高揚と人権感覚の醸成
- ◎自他の大切さを実感できる環境づくりと互いの違いを認め、個性が生きる教育活動の創造